

交通政策審議会 港湾分科会 第3回防災部会を開催します ～「気候変動等を考慮した臨海部の強靱化のあり方」について審議～

国土交通省では、気候変動による気象災害リスクの増大の明確化や、大規模地震・津波災害の切迫化、カーボンニュートラルポート形成を含めた港湾を取り巻く環境の変化等を踏まえ、気候変動等を考慮した臨海部の強靱化のあり方について審議していただくため、下記の通り、第3回防災部会を開催します。

港湾における防災・減災対策については、令和2年8月に交通政策審議会により「今後の港湾におけるハード・ソフト一体となった総合的な防災・減災対策のあり方」が答申されたところですが、気候変動による気象災害リスクの増大の明確化や、大規模地震・津波災害の切迫化、カーボンニュートラルポート形成を含めた港湾を取り巻く環境の変化等を鑑みると、取組を拡大・深化する必要があります。

このような状況を踏まえ、国土交通省では、交通政策審議会に対して、気候変動等を考慮した臨海部の強靱化のあり方について諮問したところです。これまでに防災部会を2回開催し、本年夏頃を予定している答申に向けて議論がなされているところです。

今般、第3回防災部会について、下記のとおり開催いたします。

記

日 時：令和5年4月20日（木）10：00～12：00
場 所：国土交通省（中央合同庁舎第3号館）11階 特別会議室
議 事：気候変動等を考慮した臨海部の強靱化のあり方について

○当部会は議事全体を公開しますが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、WEB上での傍聴のみとさせていただきます。なお、通信設備の都合により傍聴人数に限りがあるため、1社につき1回線とさせていただきます。また、通信状況によって画面・音声の乱れや一時的な停止の可能性のあることをあらかじめご了承ください。

○WEB傍聴を希望される方は、4月19日（水）13時までに、氏名（ふりがな）、所属、連絡先（電話番号及びメールアドレス）を記載の上、下記送付先まで送付いただきますようお願いいたします。

<電子メール送付先：hqt-kaigan.bousai.20【@】gxb.mlit.go.jp>

※メールアドレスの【@】を@に置き換えてご連絡ください。

○配付資料、議事録については、後日、国土交通省のホームページにて公開します。

問合せ先：港湾局海岸・防災課 伊藤、若山
TEL：03-5253-8111（内線46735、46733）
03-5253-8688（直通）

交通政策審議会港湾分科会防災部会 委員名簿

- 青木 伸一 大阪大学 名誉教授
- 有働 恵子 東北大学大学院工学研究科 教授
- 小野 憲司 京都大学経営管理大学院 客員教授
- 河野 真理子 早稲田大学法学学術院 教授
- 河端 瑞貴 慶應義塾大学経済学部 教授
- 久保 昌三 (一社)日本港運協会 会長
- ◎ 小林 潔司 京都大学経営管理大学院 特任教授
- 竹林 幹雄 神戸大学大学院海事科学研究科 教授
- 田島 芳満 東京大学大学院 工学系研究科 教授
- 富田 孝史 名古屋大学減災連携研究センター 教授

(◎ 部会長、○ 部会長代理)
(50音順、敬称略)